



2336 筆の署名を前にして

国は犠牲者、国民の声を聴け!!

5月6日、コモンにて国会請願行動の準備作業をしました。1年間かけて同盟会員及び協力団体がコツコツと対話し、集めて頂いた署名を集計し、300筆ごとに綴りました。

目標の5000筆の約半分の成果でしたが、署名していただいた方の思い、集めて頂いた同盟会員のみなさんの思いを代表して梅野さんに託すことができました。

そしてまた新たに請願署名運動を開始します。来年は治安維持法が公布、施行されてちょうど100年です。犠牲者に見向きもしない政府に怒りを込めて、ひとりでも多くの人に署名への協力をお願いし、目標を達成しましょう。再び戦争と暗黒政治を許さないために！



熊本県版

No. 261

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

熊本県本部

〒862-0954

熊本市中央区神水

1-30-7 コモン神水

☎096-381-1807

運動の基本

- 一、 治安維持法体制の復活に反対する。
- 二、 国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であることを認めること。
- 三、 国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。

映画「わが青春つきるとも」―伊藤千代子の生涯―

上映運動に取り組んで

八代市上映実行委員会委員長 深水 邦子

この上映運動は、平和を守る運動です。そんな気持ちで実行委員長を引き受けました。

熊本県治安維持法同盟のご依頼を受け、八代市では、昨年11月から、実行委員会方式で取り組むことになりました。これまで、8回の実行委員会を開催してきました。「学習しながら、上映を成功させよう」との合言葉のもと、1回目は、実行委員長の深水から「三重県津市での女工哀史の体験談」、2回



深水邦子さん(右)と内田次一さん

目は、遠山直毅さんより「治安維持法犠牲者遺族として」、3・4回目は横林政美さんと紺屋本稔さんから「郡築小作争議・高田農民組合運動・農民連」のお話、5回目は内田次一さんに自身の体験した「選挙弾圧・裁判闘

争・人生を語る」、6回目は国賠同盟会長の小田さんより「稀代の悪法、治安維持法について」お話を聞きました。毎回参加者の意見も飛び交い、深く学びあいました。

今、平和の危機が迫りつつあります。この映画は、昭和初期、絶対的天皇制、軍事ファシズム体制の中で、「貧困と無権利の状態にあった国民の為」小林多喜二らとともに、その青春を捧げて闘った、伊藤千代子の一生が描かれています。彼女は、24歳で獄死しました。その闘いと歴史が描かれています。

現在、政府は、再び戦前のように、防衛費を増額し、戦争準備を進めています

今、私たちが出来る事は、「伊藤千代子」を通して、平和への願い・ジェンダー平等の願い・二度と戦争をしてはならないとの願いをしっかりと受け止めて、上映会を成功させる事です。上映日程は5月19日(日曜日) 10時半と午後2時の2回上映です。会場は、しっかりと見ていただく為に、やつしろハーモニホールです。

上映参加者目標は200名とし、現在約100名の参加者となっています。何としても、200名の皆さんに、この映画を見ていただくように実行委員会は総力を挙げて頑張っています。ぜひ、ご鑑賞においでください。

第95回メーデー

衆院3補選勝利受け

“政治を変えよう”の熱気あふれる

第95回メーデー熊本中央集会は5月1日、熊本市の高橋公園で開かれ、県労連に結集する労働組合の組合員をはじめ約300人が参加しました。



挨拶する小田会長

異常な物価高騰が続く中、今春闘における一部大企業の「満額回答」「大幅賃上げ」が喧伝されていますが、圧倒的多数の中小企業労働者やパート、アルバイトなど非正規雇用労働者の賃上げは置き去りにされ、国民の暮らし、福祉はますます厳しくなっています。

そうした中でメーデー直前の4月28日投票で闘われた東京15区、島根1区、長崎3区の衆院補選のすべてで市民と立憲野党が共同して推した立憲民主党の候補が全勝し、自民党が全敗したことをうけ、来るべき総選挙でも市民と立憲野党の共闘で自公勢力を過半数割れに追い込み、政治を変えようという熱気にあふれるメーデーとなりました。

榎本光男実行委員長（県労連議長）の開会あいさつ、立憲民主党、日本共産党、社民党、新社会党県内4野党代表および自由法曹団の連帯挨拶、裁判闘争を闘っている建築労組、建交労、年金者組合、生健会などから次々と決意表明がおこなわれ、集会後、市内アーケード街をパレードしました。

メーデーには国賠同盟会員も多数参加し、会場で国会請願署名72筆が集まりました。

5.3 憲法を守る県民のつどい

憲法施行77周年の5月3日、第40回憲法をまもる熊本県民のつどいが熊本市水道町の県民交流館パレアで開かれ、約300人が参加しました。

日本国憲法をめぐる情勢は制定以来最悪と言っている状況に追い込まれています。歴代自民党政権ですら憲法9条のもとでは許されないとしてきた集団的自衛権の行使を容認し、他国の国家機能中枢を撃滅する敵基地攻撃能力の保有、そのための長射程距離の攻撃用ミサイルの開発、保有、最新鋭戦闘機の他国との共同開発と第三国への輸出……こうした憲法違反の政策を国会でまともな審議もしないまま閣議決定で次々と強行してきました。

そしてそうした動きに対する国民の反対運動を力で抑え込むための治安立法（特定秘密保護法、共謀罪法、盗聴法、マイナンバー法、デジタル改革関連法、重要土地利用規制法、経済安保秘密保護法案）などがつきつきとつくられ、「新しい戦前」どころか「もはや戦中」と言われるような状況になっています。

3日の「県民のつどい」ではそうした憲法違反の動きに歯

止めをかけるべき最高裁判所において何が起きているかについて、海渡雄一弁護士が最高裁判所判事が原発企業に天下りしたり、原発企業と深い関係にある大手法律事務所所属の弁護士が最高裁判所の判事に任官するなど憂慮すべき事態が進行していることを具体的事例をあげながら告発しました。



第7回熊本県本部理事会報告

今年度前半の主な取り組みを決める

4月28日に県本部理事会が開かれました。始めに24日に開かれた中央本部常任理事会の報告があり、会員拡大と国会請願署名運動の現状を確認し、今年度前半の行動計画を練りました。主な計画は以下の通りです。

5月15日(水) 国会請願行動

熊本からは梅野ヨシエさん派遣準備はほぼ完了。

5月19日(日) 映画『伊藤千代子の生涯』八代上映会

八代で上映実行委員会を立ち上げ定例会議で学習をしながら丁寧に準備をしてきました。単なる上映会ではない明日につながる運動となっています。ぜひ成功させましょう。

6月19・20日(水・木) 全国大会

熊本からは代議員が2名です。まだ人選が決まりません。男女1名ずつ派遣します。

希望する会員は小田会長まで名乗り出てください。(会長は本部役員なのであと2名です)

7月14日(日) 県本部総会

会場は県民交流会館パレオ 第4会議室午後1時半から
記念講演、講師交渉中

9月15日(日) 治安維持法犠牲者・先覚者の顕彰ツアー

阿蘇地方で計画します。伊藤秀男・草野三喜男・田北一郎などの墓地などを訪ね、顕彰したいと思います

10月22・23日(火・水) 九州沖縄ブロック交流集会

今年の担当は熊本県です。会場は神園山荘(熊本県総合運動公園横)、参加費は12000円程度(宿泊費・懇親会費込み) 県本部から3000円の補助を予定

記念講演・講師未定、2日目は近辺の犠牲者の顕彰ツアーを計画します。永村徳次郎・新美卯一郎・徳永直・国崎定洞・佐々木道元・田添鉄二など、時間の許す範囲で回ります。

以上が話し合われた当面の計画です。まだ詳細を詰めていく過程で変更もあるかと思いますが、会員の皆様にはぜひ参加していただきたいと思い、早めにお知らせいたします。詳細は不屈県版、チラシ等で随時お知らせします。

「不屈」川柳

清流居士

尺アユの群れる清流このままで
 摩訶不思議復興住宅水没地に
 バイデンの使い走りで空を駆け
 世界中金ばらまいて国民あえぐ
 甘い汁たかる議員の浅ましさを
 裏金でガッポリ稼ぐ自民党
 負けません維新議員は高利貸し
 イッペイとどこが違うかカジノ族
 噴き出すは腐臭にメタン怨嗟の声
 「身」ではなく「民意」切りすて万博か

治安維持法と現代

2024 春号 No.47



● 治安維持法の教育政策の功罪
 国家下で自由日本を築きたらしたるの
 1949年の歴史から読み解く
 小沢 隆一

● 治安維持法犠牲者に国家賠償を求めよ 23年間の合議録のあらかみ
 ● 自民党派閥の裏金事件について 山本 豊彦
 ● 「維新の会」をどう見るか 小松 公生
 その実態、本質、そして未来

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 編

定価 1000 円
 お問い合わせは
 事務局関根まで
 ☎090-1366-5004

治安維持法と現代

2024年春号 定価1000円(税込) 送料180円

資料・治安維持法解説
 治安維持法下の東北の闘い、今日的意義
 長野 2・4 事件と信濃教育界、満蒙開拓少年義勇軍 — 父の日記から考える
 近内金光と治安維持法
 田中徹歩

自民党の教育政策の功罪 — 国家主義と新自由主義がもたらしたもの
 緊急事態改憲論の問題点
 経済安保秘密法案の危険な仕掛け — セキュリティクリアランス法制化の問題点
 自民党派閥の裏金事件について
 組織的犯罪とはどういう意味か
 「維新の会」をどう見るか
 — その実態、本質、そして未来
 治安維持法犠牲者への謝罪と賠償を求める議員の23年度紹介議員
 小松公生
 山本豊彦
 井原 聡
 前川喜平
 小沢隆一

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟
 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館
 TEL03-5842-6461 FAX03-5842-6462
 E-mail chian@bz03.plala.or.jp

「治安維持法と現代」最新号好評発売中!